

# 2020年オリパラ東京大会とその先を見すえたプロモーション方針

- オリパラで世界各国の注目が集まり、幅広い地域から外国人旅行者が来訪する機会を、欧米豪や富裕層向けのプロモーションを重点的に展開するきっかけとして、多様性のある訪日外国人の受入を本格的に開始する。
- オリパラのレガシーとなる新たなプロモーション手法を開拓して、オリパラやその後に向けた観光先進国としてのプロモーションを実施する。
- オリパラの効果を地方へと波及させるための、新たな連携体制を構築する。

## 新しいターゲット・手法によるプロモーションの実施

### ○「訪日グローバル・キャンペーン（仮）」の実施

- ・我が国初めての市場横断ブランド・コンセプトの採用
- ・「旅行先としての日本」に関心がない層（無関心層）が、「訪日旅行に関心をもつきっかけとなる価値観や体験等を分析し、無関心層に強い訴求力を持つコンセプトを開発することで、全体の訪日客層(潜在含む)の拡大を図る

### ○海外富裕層（富裕層）の取り込み強化

- ・①市場の実態把握、②富裕層旅行取扱事業者の開拓、③情報発信強化、④商談会体制等の強化、⑤事業別PDCAに向けた基本条件の整理

### ○外国人目線の活用

- ・海外市場に精通した専門家も活用して、J N T Oが展開するウェブサイトやSNSを刷新して情報発信
- ・海外市場におけるプロモーションは、現地P R会社とも連携して現地目線で実施

### ○ICTを活用したプロモーションの実施

- ・デジタルマーケティングを強化し、利用者ごとのニーズに即した情報を、適切なチャネル・手法で提供。

### ○スポーツM I C Eの推進

- ・オリパラを契機として開催される国際会議や企業ミーティング等スポーツ関連のM I C Eを推進し、特に地方への誘致・開催を支援

### ○インバウンド・メディアコミュニケーション・チームの設置

- ・海外のP R専門家を含めた、インバウンド・メディア・コミュニケーション・チームを立ち上げ、オンライン・メディア・センターを充実強化していくとともに、メディア向けピッチを精力的に展開

## 新しい手法による地方自治体や関係機関との連携

### ○地方自治体や関係機関のインバウンド対応を強化するための支援

- ・文化プログラム主催者やホストタウンとなる地方自治体・関係機関に対し、インバウンド向けコンテンツの充実強化、インバウンド対応向上に関するセミナーや商談会の実施
- ・インバウンド・メディアコミュニケーション・チームを活用して、地方自治体や関係機関のイベント等のメディアへの露出を最大化

### ○参加者数の増加や情報拡散効果につながる仕組み

- ・地方自治体や関係機関によるイベント等の情報発信をJ N T Oのウェブサイト・キャンペーンやF Bキャンペーン等と連動させて、参加者数や情報拡散効果を最大化
- ・地方自治体や関係機関によるスポーツ・イベント等を組み込んだ旅行商品や着地型旅行商品の造成支援（共同広告等）
- ・ラグビーW Cや平昌大会等も念頭に、商品造成に向けた地方自治体や関係機関との連携を強化（ホストタウンや文化プログラム等も巻き込んだ商品造成相談会や、在外ツアーオペレーター等への商談に関する支援等）

## オリパラプロモーション実施体制の強化

- ・旅行業界以外も含めた関係機関・団体等を集めた関係者協議体としてインバウンドプロモーション推進委員会（仮称）の設置を検討し速やかに実施